



Wilhelm·Conrad·Röntgen
 ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
 1895年 X線発見

放射線だより

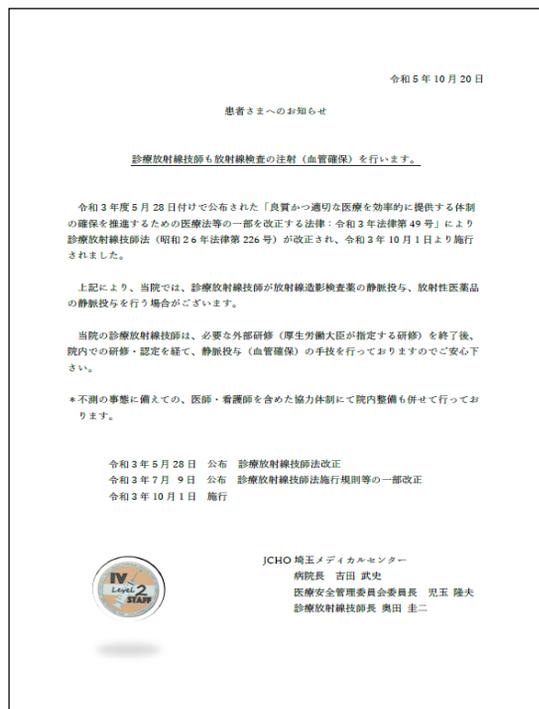
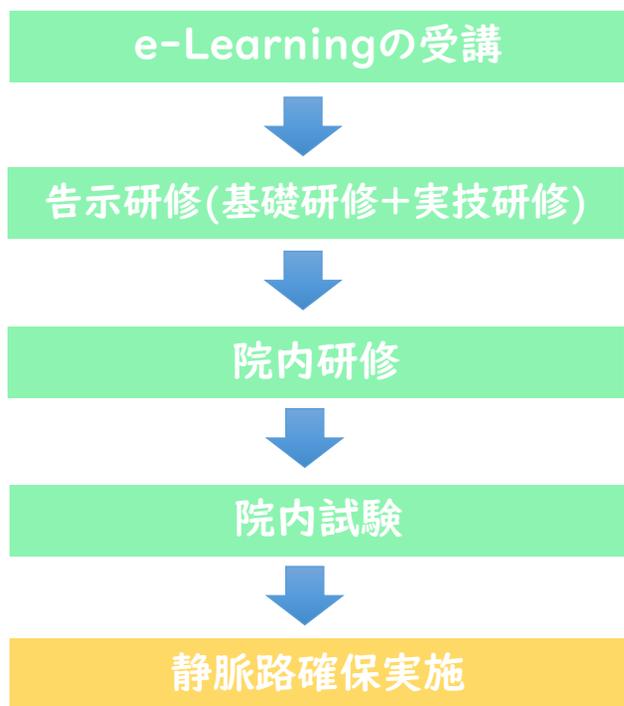
2023年12月
 No. 23 (毎月発行)
 担当：馬場俊明

from Radiation House

診療放射線技師による静脈路確保について

2021年10月1日診療放射線技師法の改正に伴い、診療放射線技師による検査のための静脈路確保が可能となりました。
 当院でも2023年10月からMRIの造影検査、RI検査において診療放射線技師による静脈路確保が始まりました。

当院診療放射線技師による静脈路確保実施までの流れ



医師が担っている業務の一部を他の医療従事者が行うことで、医師の業務の負担を減らすことがタスクシフトの目的です。

今回の診療放射線技師法改正により、静脈路確保から造影剤の注入、撮像、抜針、止血までの全てを診療放射線技師が行うことが出来るため、医師や看護師の負担が軽減されることが期待できます。

現在は一部の診療放射線技師による実施となりますが、当院でも80%以上の技師が告示研修の受講を終了しております。

さらに幅広い医療行為に貢献できるように努力していきたいと思います。

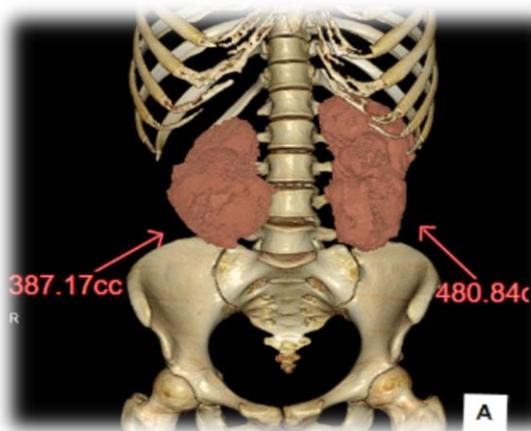
文責：古川

CT 3D再構成

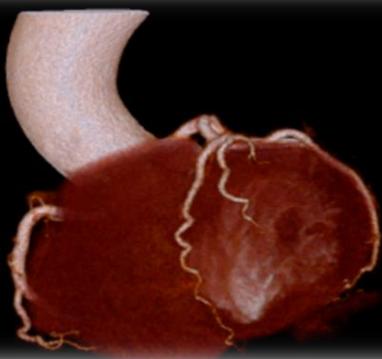
CT撮影後、以下の目的などで骨や血管、臓器の3D画像を作成しています。



CTA



腎容積



心臓



骨

【目的】

- ・3次元的に表現することで**骨折の位置**を見えやすくする。
- ・3次元的に表現することで**血管と臓器の関係**を3次元的に把握し、**手術前評価の支援**補助に用いる。
- ・患者説明時に、患者さんに比較的馴染みのある画像を用いることで、**理解しやすいようにする**ための一助として用いる。
- ・**臓器（腎臓や肺）の容積を測定**し、疾患について把握するために用いる。

作成してほしい画像や疑問点などございましたらご連絡宜しく申し上げます。

※撮影方法により作成できないものもございます。